

## 事例2

## 学校林はどこにあるの、どんな木が植えてあるの？

内容	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校林についての理解を深める。</li> <li>・学校林で林業作業体験を行う。</li> </ul>
ねらい	<ul style="list-style-type: none"> <li>・地域の先輩が学校林を作った意義を知る。</li> <li>・森林が水源や自然環境に役立っていることを考える。</li> <li>・切った桧の匂いや皮をむいた木の手ざわり、樹液の匂いなど、直接木に触れて木に親しみを持つ。</li> <li>・樹種により木の匂いが違う事を体験する。</li> </ul>
学習効果	実体験を伴う地域の環境への理解の促進
関連教科	社会
対象学年	小学校6年生
対象人数	20人
場所	学校林等 (事例は、松阪市立大河内小学校学校林 松阪市勢津町)
時期	夏期
進め方	<p>(進行例)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1. 小学校よりマイクロバスにて林道口まで移動。</li> <li>2. 林道を約1時間登って学校林へ到着。</li> <li>3. 指導者が事前に林道の補修と現場での簡易トイレの設置を行う。</li> <li>4. 林業普及指導員(三重県職員)が森林のはたらきなどを説明する。</li> <li>5. 指導者が、チェーンソーで立木を伐り、参加者が引き倒す。</li> <li>6. 枝をノコギリで切ったり、皮むき棒で皮をむく。</li> <li>7. 数種類の樹木の板切れを並べ、その木の名前を当てる。</li> <li>8. 切った桧を指導者がチェーンソーで輪切りにして、各自持ち帰る。</li> </ol>

<p>ポイント</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・安全のため全員ヘルメットを着用し、指導者の指示に従う。</li> <li>・間伐作業などの作業は育林に大切な事を説明する。</li> <li>・時代の変化で学校林の木材は現在利用出来ないが、地域の先輩方の想いを知る。</li> </ul>
<p>道具・材料</p>	<p>チェーンソー、ロープ、滑車、皮むき棒、ノコギリ、樹木の板切れ(5種類)、ビニールシート</p> <p>弁当、お茶、手袋、雨具、筆記用具</p>
<p>所要時間</p>	<p>6時間</p>
<p>経費</p>	<p>講師料 無料          交通費 実費(地域内は無料)          道具類等 チェンソー経費 1,000円</p>
<p>森のせせり 氏名・団体</p>	<p>松阪林業研究会 会長 松田和生</p>



間伐した桧の枝を切る。



切った木の皮をむき、棒で剥ぐ。



各種の木の板の名前を考える。